

チャレンジ2

春の空を見上げて、「おぼろ月夜」を歌ってみよう♪

(教科書12～13ページ)

教科書13ページを開いてみましょう。そこには、かすみがかった春の夕ぐれの様子が見て取れます。「春霞（はるがすみ）」という言葉があるくらい、この季節ならではの光景です。そんな春のかすんだ夜に見える月を「おぼろ月」といいます。

では、なぜ春にだけ空はかすむのでしょうか？

いくつかの理由がありますが、1つは春になると植物が一斉に芽吹くので、そこから蒸発する水分量も多くなり、蒸発して大気中に放出されます。昼と夜の温度差も助けとなり、大気中の水分が目に見えやすくなる現象が、「春霞」なのです。



生命がめぶく季節ならではのですね！

そんな春のかすんだ夜に浮かんで見えるおぼろ月をイメージしながら歌ってみてください！

歌詞で使われている言葉が分かりにくければ、教科書13ページに言葉の説明があるのでそれを読みつつ、どんな意味か考えて、歌の情景を想像しながら歌ってみましょう。

前ページに記した「自宅学習支援コンテンツ 教育芸術社」のサイトから「おぼろ月夜」の曲が聞けます。一緒に合わせて歌ってみよう！

歌ってみて感じたこと、気付いたことを書きとめておこう♪